



東洋学園だより

Vol.12

『東洋学園だより』は、東洋学園大学同窓会および東洋女子短期大学同窓会、東洋学園史料室（旧制卒業生）からの名簿提供（2023年11月24日現在）に基づいてお送りしております。

CONTENTS

辻中学長からのメッセージ.....	1
100周年に向けた キャンペーンが始動!.....	2
各自のフィールドで活躍する学生たち/ 東洋学園の歴史.....	3
インフォメーション.....	4

東洋学園だより第12号 2024年1月31日発行 [発行・編集] 学校法人東洋学園 学生支援課 〒113-0033 東京都文京区本郷1-26-3 TEL.03-3811-1072 E-MAIL.koyukai-info@tyg.jp

辻中学長からのメッセージ

「ワクワクする都心型大学へ」 ーグローバル東京をキャンパスに

2022年4月の学長就任から間もなく2年を迎える辻中先生。
100周年とその先に向けて、目指す大学の姿を語っていただきました。



東洋学園大学学長
辻中 豊

大阪大学大学院法学研究科公法学専攻（修士）。博士（法学）京都大学。コーネル大学客員（フルブライト、ACLS）研究員。筑波大学人文社会系教授、副学長。東海大学政治経済学部教授、副学長。国際大学協会アジア代表理事（2012～16）。日本政治学会理事（2014～16）。学校法人東洋学園評議員、理事を経て2022年4月より現職。

TOGAKU教育のバージョンアップ

この2年間、東洋学園大学をいかにアピールするかを考え続け、「グローバル東京をキャンパスにーTOGAKUでフィールド・スタディ（PBL）」という表現に行きつきました。

フィールド・スタディという言葉には、いくつかの意味を含んでいます。

自彊不息（じきょう・やまず）という本学の建学の精神は、創立者、宇田尚先生がよく説かれたものですが、私は、自彊の「彊」の漢字は、弓と一、田、一、田、一から構成されており、この「田」は、まさにフィールド（田畑）であって、自らのフィールドを見つけ、耕し、守り、それを毎日、弛まず、しっかり強化し続けることが、人生にとって大切なのだと解釈しています。

また、私は、就任後、すべての先生方とじっくり懇談する機会を持ちました。前回ご報告したように、本学ではたくさんの「骨のあるユニークな」先生方が、熱心に研究し、面倒見よく教育されているのが分かりました。特に印象的なのは、多くの先生が、東京近辺に、また世界各地に「現場」（フィールド）をもっていることです。現代経営学部ですと、多くの企業やビジネス、労働の現場、人間科学部ですと、学校や保育園、福祉やカウンセリングの施設、グローバル・コミュニケーション学部ですと、JICA、国際機関、NGO、観光施設、そしてすべての学部で大学や行政機関、研修施設、市民団体（NPO）などです。

そして、学生たちも、先生方のフィールドへ導かれ、また、ゼミでの卒業論文の作成のために、各地でフィールドワークをしています。今年、コロナ禍が明け、海外の提携校（例えばSHSU）の学生も本学を拠点に、フィールドトリップをしました。いくらOnlineで学習や研究ができる時代になったとはいえ、実際の現場、フィールドで、直接、社会やビジネスの、グローバルに活躍する人々にリアルに触れる、交流経験をする事は、座学とは全くイン

パクトが違うことを実感しています。

フィールド・スタディ（PBL）こそ、本学の教育の特長であり、それを21世紀型として革新していくことが、教育のバージョンアップにつながると考えています。

PBL (Project Based Learning)

このフィールド・スタディを支える新しい教育手法は、PBLと呼ばれています。さまざまな社会問題に対して、学生自身が疑問をもち、その疑問に答えるために、学生同士が（教員も含め）がプロジェクトを組み、解決を模索する課題解決探究型の教育です。さまざまな手法がありますが、例えば実際に現場（フィールド）を訪れ（また関係者を招き）、そこで生きた情報や知識を獲得し、問題の複雑さを理解しつつ、自らの頭で解決への道筋を考える、またチームワークを育み、解決へのアイデアを討議する、「現場と過程」重視の教育です。

社会課題の最前線（現場）でもあるグローバル東京の都心という、本学キャンパスの特長が活かせる手法です。そして、多様な情報がヴァーチャルにOnlineで入手できる現代においても、現場での生きた経験やチームワークの意義を体感することができる貴重な手法だと考えています。

70余名の活力ある教員群

こうして都心キャンパスに集う先生方は、活気ある雰囲気の中、しっかり楽しく研究され、教育されているように感じています。自由な研究は、日本学術振興会の科学研究費によって助成されますが、2022年度は366位（全私学592校中）であった科研費補助金額が、2023年度232位に増大したのも、良い傾向です。

本学の先生方には、講義以外にも学務や社会貢献、そして学生のケアなどたくさんの仕事（面倒見のよい大学）をしていただき、学長としては毎日

頭が下がる思いです。大学はそれに応えて、私の経験した大学（北九州市立大学、筑波大学、東海大学）を上回る、充実した研究費や特別研究費、特別教育費、出張旅費などを用意していますが、今後一層、先生方のフィールド・スタディ（PBL）を後押ししていきたいと思っています。

100周年が近づく東洋学園

18歳人口が2040年には25%減となる急速な少子化を受け、私学が危機を迎えているとの認識が広がっています。コロナ禍の3年余りをへて、IT化、Online化は各段に進み、2023年には生成AIの本格登場もあり、それぞれの大学は、ミッション（使命）やパーパス（存立目的）の見直しを迫られています。

東洋学園大学は、2016年4月、3学部と大学院が東京・本郷キャンパスに揃う「一体型都心キャンパス」を実現し、2040年への針路を先取り（Engagement）したと考えています。「グローバル東京をキャンパスにーTOGAKUでフィールド・スタディ（PBL）」は、この事実に対して明確な表現を与えたものなのです。

100周年に向けて、大学では、様々なプレ・イベントがこの秋、始まっています（詳細はHPやTOGAKU PRESS（HP受験生サイト内）を参照）。ワクワクするイベントや懐かしい催しが続々とこれから登場いたします。

同窓生の皆さまの一層のご支援、ご協力、そして積極的な参加をお願いできれば幸いです。



100周年イベント開催中のキャンパス

大学からのお知らせ

2026年11月、本学は創立100周年を迎えます。現在学内ではプロジェクトチームを立ち上げ100周年に向けた催し物などを企画しています。最新情報は大学ホームページや校友向けメールマガジン、東洋学園だよりなどで発信しますので、ぜひご覧ください。

大学の最新情報はホームページで！
東洋学園大学の「今」を随時更新。
【HP】 <https://www.tyg.jp/>

メールマガジン配信サービスのご案内
校友の皆様にご参加いただける講座など、年4回発信。
【HP】 <https://tgwb.tyg.jp/fr/koyukai/post-2.html>

お問い合わせ先
学生支援課 校友窓口

TEL 03-3811-1072 受付時間：平日（月～金）9：00～17：00

E-MAIL koyukai-info@tyg.jp ホームページ <https://tgwb.tyg.jp/fr/koyukai/>





100周年に向けたキャンペーンが始動!

2026年の創立100周年を盛り上げるべく、「TOGAKU100」キャンペーンがスタートしました。在学生や教職員、卒業生も一丸となってワクワクする企画を展開中。今後も多彩なイベントが登場予定です!



キャンペーン第一弾は TOGAKUコピーアム2023

本学と宣伝会議賞がコラボし、全国の中高生からキャッチコピーを募集・展示するイベント「TOGAKUコピーアム」。2023年度は「TOGAKU100」のキックオフイベントとしてスペシャル仕様で実施しました。採用されたキャッチコピーは、2022年度の宣伝会議賞(中高生部門)応募作の中から選ばれた優秀作品20点。それらのキャッチコピーを、本学の建学の精神「自強不息」にちなんで「コツコツ積み上げること」を表現したキューブ型オブジェなどにデザインし、学内に展示しました。



歴代の校章やロゴ入り! 100周年ロゴが誕生

100周年を記念したロゴマークが2022年に完成しました。左側には「東洋女子歯科医学専門学校(旧制)」、「東洋女子短期大学」、「東洋学園大学」の3つの校章・ロゴを積み重ね、100年間の歴史を表現しています。



100周年記念特設サイト始動 同窓生からの投稿も募集中

100周年に向けた特設サイトが立ち上がりました。サイト内には、東洋学園の歴史が動いたその時を関係者が語るコラムや年表の他、同窓生の皆さんからの投稿コーナー等もあり、サイト完成の2026年まで内容の更新が続きます。



学食でもワクワクな イベントを開催

「TOGAKU100」キャンペーンに合わせて、現在は学食のガラス壁もデザインコードでラッピングされています。その学食内では、100をテーマにしたワクワクするような企画も。

2023年9月には、5日間限定で全メニューが100円になる「100円食堂」を開催。普段は480円のプレートランチなどが100円でお得に食べられるとあって、のべ1,000食を超える利用がありました。

また、同時期に「100gぴったりチャレンジ」の開催も。はかりを見ずに100gを当てるゲームで、多くの在学生が参加して盛り上がりました。

デザインコードを作りたい」と制作に尽力してくれました。そして誕生したのが、色とりどりのパーツを組み合わせた「TOGAKU100」の文字(ページ上部)と、そこから派生したデザイン。100年の歴史への感謝に加え、未来の可能性にワクワクする気持ちが表現されています。



卒業生がキャンペーン デザイン制作をサポート

「TOGAKU100」キャンペーンのデザイン制作には、本学人文学部国際コミュニケーション学科(現グローバル・コミュニケーション学科)卒業生の山村拓也氏が携わっています。

現在は株式会社MAO & Co.でプロジェクトマネージャーを務める山村氏。「母校と仕事をすることは思っていなかった」そうですが、「自分が関わるからには、同じような卒業生に向けて「今、大学がおもしろいことをしているんだよ!」と発信したいし、世間一般の人々がワクワクして見て『東洋学園大学だ』とわかるデザインコードを作りたい」と制作に尽力してくれました。

100周年に向けて、キャンパスも進化中!

学食がリニューアル 在学生がゆったり過ごせる空間へ

2023年4月、1号館5階の学食がリニューアルオープンし、スタイリッシュな空間へと生まれ変わりました。新しい学食には、テーブル席に加え、ソファ席やカウンター席も用意。食事はもちろん、友達との談笑や自習などにも活用しやすくなり、在学生が思い思いの時間を過ごす居場所となっています。また、メニューの選択肢を増やすとともに、食券の電子決済にも対応しました。



東洋学園大学グラウンドが一新!

千葉県松戸市にある「東洋学園大学グラウンド」のリニューアルが完了。テニスコート3面、人工芝エリア、エアコン完備のクラブハウスが新設され、部活動の練習効率がアップしました。テニスコートはナイター設備を完備し、公式戦でも使えるレベルにアップグレード。テニス部員からも「球がよく走る」と好評です。



キャンパス向上学生チームが 屋上の改修案をプレゼン!

学生の声を大学側に届けるべく、2023年春に発足した「キャンパス向上学生チーム」。1~3年生7名が所属しており、職員と連携して学内施設の改革を進めています。現在のテーマは屋上の改修で、「在学生の屋上利用率を向上させるには何が必要か?」を学生チームが考え、大学側に改修案をプレゼンしました。その案が可決されれば、リニューアルに向けて本格始動する予定です。

各自のフィールドで活躍する学生たち

産学連携プロジェクトの増加、留学の本格再開、学園祭の対面開催復活などコロナ禍が明け、学生たちの動きが活発になってきています。各自のフィールドで奮闘する在学生の姿を通じて、本学の今を感じてみてください。

各学部で産学連携が活発化! 外部とつながって学びを深める

ビジネスや文化の発信地「東京」を拠点とする本学は、その恵まれた立地を活かし、外部の企業や人々とつながって学ぶ機会を大切にしています。

たとえば、現代経営学部の本庄ゼミは、化粧品開発のエキスパートである「Z世代へのメンズ化粧品のさらなる普及」を目的として、日本と韓国で調査を行い、最終的に市場拡大のアイデアを「COSMEL」に提案予定です。

また、人間科学部の田蔵ゼミは「一般社団法人日本バレーボールリーグ機構」と連携。グローバル・コミュニケーション学部のグローバル・キャリア履修生は「ザ・キャピトルホテル 東急」で学外研修を行うなど、各学部で外部との連携が活発化しています。



上から時計回りに：バレーボールリーグの接客アップを研究中の田蔵ゼミ/都心の一流ホテルでもてなしを学んだグローバル・キャリアの履修生/韓国で市場調査を行った本庄ゼミ

コロナ禍を経て留学が本格再開 多くの学生が海外へ!

2023年秋季学期から、本学の学生9名が留学中です。長期留学制度(半年~1年)で留学しているのは、グローバル・コミュニケーション学部の5名。留学先は韓国、アメリカ、カナダ、アイルランド、オーストラリアです。また、ICP(国際キャリアプログラム)の9期生4名は、アメリカの大学で語学や専門分野の勉強に励んでいます。さらに、本学の国際交流センター

(IEC)が主催する短期留学も本格的に再開。2023年夏には、イギリス&韓国の大学への語学留学と、カンボジアでのインターンシップが行われました。2024年春も短期語学留学が予定されているほか、新たなエコツアーやスタディツアーも登場予定です。



本学のゴミゼロサークル× 東レのエコバッグが完成

「日本ーゴミの出ない大学」を目指して活動する本学の公認団体「ゴミゼロサークル」と、東レ株式会社のコラボによるエコバッグが誕生。東レのリサイクル繊維「E+」を使用し、デザインはサークルのメンバーが担当しました。



4年ぶりの完全対面開催が実現! 大盛況となった2日間の学園祭

2023年10月、「第31回 東洋学園大学 フェニックス祭〜郷郷祭り〜」を開催。学園祭運営局が準備を重ね、4年ぶりに完全対面での学園祭を実現させました。今回は学生団体らによるステージやライブのほか、飲食系の出店も復活。また、文京区の子どもたちや本学学生らの作品を展示する「みんなの作品展」、緑日企画、地元の方々による「志岐太鼓」なども行われ、2日間にわたって盛り上がりました。



ダンススポーツの大西選手が 日本最高峰の大会で優勝!

ダンススポーツのトップ選手として大活躍中の大西咲菜選手(グローバル・コミュニケーション学部4年)。2023年も数々の好成績を残し、日本最高峰の「三笠宮杯」でもスタンダード部門で優勝、ラテン部門で準優勝しました。



東洋学園の歴史 第9回 震災100年と学徒出陣80年

2023年は関東大震災から100年、学徒出陣から80年の節目の年でした。日本史上、特筆される二つのできごとは東洋学園にも大きな影響を及ぼしました。

関東大震災は1923(大正12)年9月1日、午前11時58分に発生しました。M7.9、死者・行方不明者約10万5千人という未曾有の災害でした。本学の前身・明華女子歯科医学専門学校は「大震災二際本校ノ校舎、附属医院、寄宿舎等全部焼失ノ厄ニ罹リ」と簡潔に記します。1917年の開校以来、卒業生が国の検定試験免除で歯科医師免許を得られる文部大臣指定校を目指してきた同校の指定申請直前でした。

明華女歯は1924年3月に再建を完了し、7月に指定を申請しますが、国は容易に指定を与えません。直接の阻因は別ありますが、復旧のため多額の債務を負っ

たことも影響しています。このため新たな経営陣の下で東洋女子歯科医学専門学校として名実ともに生まれ変わり、指定を得た1926(大正15)年11月4日が東洋学園の創立とされてきました。東洋学園の成立には巨大災害が影響しているのです。



焼失した明華女子歯科医専。位置は現在の1号館で奥は本館ハウスと4・5号館になっています。

日中戦争から米英など連合国との「大東亜戦争」へと拡大した戦局が急速に悪化しつつあった1943(昭和18)年10月21

日、文部省主催学徒出陣壮行会が明治神宮外苑競技場(現国立競技場)で開催されました。高等教育に在学中で20歳以上の文系学生を、消耗の激しい下級将校補充要員等として死地へ送るためのセレモニーでした。



NHKスペシャル「カラーでよみがえる東京」(NHK提供、2014)より。東洋女子歯科医専の旗手から左は東京女子医専(現東京女子医科大学)。壮行会に参加した卒業生土屋静子氏(1945年卒)の記事が2023年10月20日読売新聞朝刊に掲載されました。

ンドに見送りとして動員された女子学生ら約5万名が雨の中、参加しました。東洋女子歯科医学専門学校の学生はニュース映画「日本ニュース」177号で東條英機首相の演説中、文部省映画「学徒出陣」では在学学徒送辞の際にアップで映し出されます。

戦争で東京は再び焦土となり本校も焼失、戦後占領下の改革で大学昇格を阻まれ、東洋女子短期大学英語科として再興します。この流れの先に今日の東洋学園大学があります。



学徒出陣の碑(右上)と今日の国立競技場(下)。

東洋学園史料室 1号館9階 月~金(平日) 10:00~16:30 <http://www.tyg-archives.jp>

キャリアセンターからのお知らせ

キャリアセンターでは、在学生のみならず、卒業後の就職活動や早期離職し転職活動されている方の就職支援を行っています。この度、2023年9月に卒業する学生を対象に「若者正社員チャレンジ事業」の事業責任者である戸村氏を招聘し、個別の就職相談会を行いました。

「若者正社員チャレンジ事業」とは、飯田橋にある東京しごとセンターヤングコーナーの就職支援プログラムの1つで、29歳以下の求職者を対象にセミナーと企業内実習（インターンシップ）を通して正社員を目指す東京都の就職支援事業です。

在学中に就職活動を積極的に行えなかった方や、卒業後に自分のペースで就職活動をしていきたい方などを対象に、セミナーと企業内実習（インターンシップ）という就業体験をしていただき、そこでの経験に基づいて正社員としての就職につなげるものです。

参加対象者は仕事を探している既卒の29歳以下の方で下記の条件にひとつでも当てはまれば対象です。
 ・学校を卒業してから、就職をしたことがない方
 ・アルバイト、派遣、契約社員などの非正規での就業経験のみ方

・同一企業における正社員としての雇用期間が3年を超えない方
 卒業後の就職活動や早期離職の転職活動で苦戦されている方、少しでも関心を持たれた方は、お気軽に東京しごとセンターにお問い合わせください。



お問い合わせ・お申込み先
 東京しごとセンター「若者正社員チャレンジ事業」
 ホームページより
 【TEL】03-5211-2871



東洋学園大学同窓会奨学金採用学生からのお礼の言葉

2022年に新設された東洋学園大学同窓会奨学金について、2023年度に採用された学生からのお礼のコメントをご紹介します。

「今回、同窓会の皆様のご厚情を賜り、東洋学園大学同窓会奨学生として採用していただきました。私自身4年間大学に通うには、莫大な費用がかかってしまうので不安が大きかったですが、皆様からいただいた奨学金の手助けのおかげで不安も減り、より充実した大学生活が送れています。奨学生としての自覚をしっかり持ち、これからは夢に向かって今まで以上に勉学に励み、大学生活を謳歌したいと考えております。同窓会の皆様へ心より感謝申し上げます。ありがとうございます」(人間科学部1年 女子学生)

東洋女子短期大学同窓会からのお知らせ

会員の皆さま、お変わりなくお過ごしでいらっしゃいますか。社会は以前の様相を呈しつつありますので、同窓会も徐々に活動を再開しております。

2026年は東洋学園100周年を迎える記念の年です。ひとりでも多くの同窓生から在学中の出来事、先生や友人との思い出、将来への展望などのメッセージをお寄せいただき、お祝いの気持ちを表したいと思っております。下記宛にてぜひお寄せください。なお、住所・氏名の変更なども受け付けています。

お問い合わせ先
 東洋女子短期大学同窓会
 【住所】〒113-0033 東京都文京区本郷1-26-3東洋学園大学内
 【FAX】03-3811-5102 【E-MAIL】dosokai@ec.tyg.jp

東洋学園大学同窓会からのお知らせ

—異動調査にご協力をお願いします—

コロナ禍収束の先行きが見えてこない状況ではございますが、同窓会では原則週一日、卒業生スタッフが出校し、業務を行っており、本年度も無事会報、異動調査の発送を実施いたしました。

異動調査につきましては、お送りした会報に表示されるQRコードをご活用ください。また、本会HPからも随時受け付けております。本年度が対象となっていない方も、何かしら変更がございましたらご活用いただければ幸いです。お預かりした個人情報、セキュリティ対策に万全を期した上で管理しております。

コロナ禍に戦争、止まらぬ物価高、まだまだ多事多難な状況が続きます。

すべての東洋学園に関係する皆さまのご無事とご活躍をお祈りしております。

お問い合わせ先
 東洋学園大学同窓会室(原則毎週金曜日)
 【住所】〒113-0033 東京都文京区本郷1-26-3
 【TEL】03-3811-1820 【HP】https://tgoal.jp/



各種証明書の発行について

～2023年10月25日より、
「オンライン証明書受付・発行システム」が運用開始～

証明書の申込はオンライン申請、手数料支払はオンライン決済となりました。

卒業年度により受取方法が異なります。

大学(大学院)卒業生			
	証明書の種類	対象者	受取方法
和文	卒業(修了)証明書 成績証明書	2005年3月以前の卒業生	郵送 / 大学窓口(教務課)
		2006年3月以降の卒業生	コンビニ発行*1 / 郵送 / オンライン送付*2 / 大学窓口(教務課)
英文	卒業(修了)証明書 成績証明書		郵送 / 大学窓口(教務課)
短期大学(専攻科)卒業生			
	証明書の種類	受取方法	
和文	卒業(修了)証明書	郵送 / 大学窓口(教務課)	
英文	成績証明書		

*1) コンビニ発行: 全国のコンビニエンスストアの各店舗内に設置されているマルチコピー機を利用して証明書をお受け取りいただけます。
 *2) オンライン送付: 電子証明書のオンライン送付機能は、各種証明書を真正性の担保された電子証明書(PDF)として企業に直接送付することができるサービスです。

※初回申請は「新規登録手続」が必要となります。承認には最長3営業日をいただきます。詳細は本学ホームページにてご確認ください。
<https://www.tyg.jp/shomei/>
 大学教務部メールアドレス: online-kyomu@tyg.jp
 ※個人情報の変更は各同窓会へご連絡ください。



東洋学園大学の教育振興資金へのご協力のお願い

学校法人東洋学園は1926(大正15)年に建学し、在学生のご父母・保証人や、卒業生各位のお力添えを賜り、高く掲げた理想の教育の灯を消すことなく、今日を迎えることができました。そして来る2026年には創立100周年を迎えます。

本学は自強不息の建学の精神に基づいて、教育と研究の質を高め、学部の垣根を越えた交流や支援体制を充実させてきました。これもひとえに皆様方のご支援の賜物と心より感謝申し上げます。現代の日本において、

大学は社会に有為な人材の育成を求められていると同時に、ICT設備の拡充等のさらなる教育環境の整備充実、教育研究活動の高度化の必要性が高まっています。

ご父母・保証人の方々からは学納金をお納めいただき、国からも補助金をいただいておりますが、創立100周年に向け、教育内容の充実、修学環境の一層の整備を図るため、格別のお力添えを切にお願い申し上げます。

学校法人東洋学園
 理事長 愛知 太郎

ご寄付に関する詳細はホームページ(右記QRコード)をご確認ください。
<https://www.tyg.jp/guide/toyo/bokin.html>



東洋学園大学教育振興資金寄付者ご芳名(敬称略・50音順)

(2022年4月～2023年3月までにご寄付頂いた方)
 法人/団体(3法人/3団体): スケーター株式会社、スポーツ施設株式会社、日電商工株式会社、一般財団法人ユーラシア財団 from Asia、東洋学園大学同窓会、本郷豊岐坂太鼓
 個人(14名): 青柳 宏幸、岩崎 好太郎、打田 美代子、京田 直人、黒川 昌一人、坂本 ひとみ、下沢 ユキ、竹野 直子、中里 由佳、橋本 美奈子、松尾 奈美恵、松本 潤、三好 玲香、山本 寛之
 他に氏名掲載を許諾された方以外の寄付者: 法人/団体(3法人)、在学生・卒業生等を含む個人(37名)